

参与観察

参与観察の由来

- マリノフスキー（ポーランド人人類学者）
 - Bronistaw Malinowski



マリノフスキーの方法: 参与観察

- トロブリアンド諸島での長期のフィールドワーク
- 比較的小さなまとまりのある民族集団に対する調査方法
- 現地に住み込み、現地の言語を習得する



参与観察の実際

- 時間がかかる
- 言質社会のとけ込む過程はゆっくり
 - 当初は異邦人、めだつ、好奇の対象
 - 現地の習慣、行儀作法を獲得するにつれ、めだたなくなり、人びとはごく自然に振る舞うようになる→観察可能になる
- 対象者が答えられない領域＝文化
 - 文化は空気（現地の人びとも自覚していない）
- 観察と質問をくりかえし、暫定的な「理解」に達する
 - 人類学における「モデル化」
 - 暫定的な理解にもとづいて、さらに観察と質問を繰り返し、モデルを完成させていく。（弁証法的作業）